

大学図書館職員短期研修

1. 目的

大学図書館等の活動を活性化するため、大学図書館等の職員が、今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な、図書館業務の基礎知識・最新知識を修得する。

2. 到達目標

国内外の大学図書館等における最新の動向や事例を学び、図書館業務の推進および改善について、主体的に考えることができるようになる。

3. 受講対象者

以下の条件をすべて満たす者を対象とする。

(1) 所属機関

大学等(大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、文部科学省所管独立行政法人および施設等機関)。

(2) 勤務形態

現在、大学等から直接雇用されて図書館等に勤務し、また受講後も一定期間の図書館勤務を予定している職員。

(3) 年齢

平成 29 年 4 月 1 日現在の年齢が 35 歳以下であること。
ただし、応募状況により 36 歳以上の職員の受講も可とすることがある。

(4) 勤務年数

平成 29 年 4 月 1 日現在、大学等での図書館勤務年数が 2 年以上 10 年以下であること。ただし、応募状況により、勤務年数が 10 年を超える職員の受講も可とすることがある。なお、現所属機関の勤務以前に、受講条件(1)(2)を満たす勤務年数がある場合は、通算してもよい。

※ 過去に大学図書館職員短期研修(平成 18 年度までの旧称「大学図書館職員講習会」も含む)を受講したことがある者は原則として受講対象としない。

4. 受講の前提となる知識・技術

図書館業務の概要を把握していること。

5. 開催会場・開催期間等

開催会場	開催日時		申込締切日	定員
京都 (京都大学附属図書館)	29.10. 3(火)～10. 6(金)	第1日 9:30～17:40 第2～3日 9:30～17:30	29. 7.21(金)	各回 42名
東京 (国立情報学研究所)	29.10.17(火)～10.20(金)	第4日 9:30～17:10		

主催機関：〔京都会場〕京都大学附属図書館

〔東京会場〕東京大学附属図書館

共催機関：国立情報学研究所

6. 主な研修内容（予定）

- 大学図書館の現状と課題
- 大学図書館における各種業務・サービスの最新動向
- 国立情報学研究所の学術コンテンツ事業
- 海外研修事例報告
- グループ討議、成果発表

参考：平成28年度大学図書館職員短期研修カリキュラム

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/librarian/h28/index.html>

7. 受講の申込みと受講者の決定

受講を希望する会場各々の研修概要を参照のうえ、手順に従い、受講希望者の所属機関が、受講希望会場へ申し込みを行う。

研修概要ウェブサイト〔京都会場〕 <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/tanken/>

〔東京会場〕 <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tanken/>

8. 経費

研修費および教材費	無料
旅費	所属機関の負担

9. 修了証書

この研修において所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。